科目名	特別実習 Special Practice			担当教員	学科長		
学年	４・５年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分野	専門	授業形式	実習	科目番号	13132032	単位区分	学修単位

学習目標	目標区分　(A-2)：広い視野－国際的観点から多面的な意見を述べられる。 (C-1)：継続的学習能力－技術的興味を高め生涯学習の目標を説明できる。 (C-2)：課題設定能力－的確な問題提起を行い計画的に実行できる。
	外部講師による講演、卒業研究発表会・校外実習発表会等の聴講や各種イベントの参加を通じて，電気電子および情報工学分野の技術動向を把握するとともに、技術的志向や学習意欲を高め，技術者としての倫理観を育むとともに勉学や研究を継続する重要性を自発的に理解していくことを目標とする。さらに，各イベントにおける感想や自己の目標等を記述することにより，各自の人生観や目標達成への実現方法について説明できる能力を身につける。
進め方	※授業の進め方について記述する。

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	０．ガイダンス（1） １．校外実習発表会（3） ２．卒業研究中間発表会（4） ３．卒業研究説明会（4） ４．卒業研究発表会（8） ５．その他　(10) ・特別講演などの聴講 ・技術者教育に関する会議への参加 ・指定したイベントへの参加	・校外実習発表会を聴講し，発表者のプレゼンテーションに対する感想やこれからの自分にどう活かせるかなどの自己の意見を多面的にまとめられる。(A-2) ・卒業研究中間発表会では，同輩や先輩の研究発表を通じて技術的な興味を高め，各自の感想や今後の目標について説明できる。(C-1) ・卒業研究説明会における説明に対し，研究室選択の理由や抱負をまとめ，これから研究活動における目標について説明できる。(C-1) ・卒業研究発表会では，先輩の講演を聴講することにより技術的な興味を高め，感想や自らの研究目標についてまとめられる。(C-2) ・総合演習時間での自学自習を積極的に行い、その成果をレポート等の指定された報告書にまとめられる。(C-1) ・各種イベントに参加し，国際社会における企業や技術のあり方を知り，自分の意見をレポートにまとめられる。(A-2) ・各種イベントに参加し，人生観や将来目標について認識を深めるとともに目標達成への実現方法などについて説明できる。(C-1) ・各種技術イベントに参加し，専門技術がどのように産業応用されているかを確認し，レポートにまとめられる。(C-2) ・留学生との対話会などのイベントに参加し，種々の立場の意見や物の見方を知り，自分の視点との違いなどについてレポートにまとめられる。(A-2)

評価方法	・ ※感想文やレポートなどの提出物によって評価する。 ・ 上記 1～4 まで各種イベントに対するレポートについては，技術者としての人生観や生涯にわたる勉学を継続する意識，目標の記述に対して評価する。 ・ その他の技術関連イベントを通じて，専門分野における技術動向の把握の程度をレポート内容にて確認し，評価する。 ・ レポートの記述内容に対して原則として優，良，可の判定を行い， 優=100 点，良=80 点，可=60 点，不可=0 点として平均点を本教科の評価とする。
履修要件	特になし
関連科目	校外実習（4 年）→［特別実習］（4・5 年）→（技術者倫理），（輪講），（学外実習）（専攻科 1 年）
教材	特になし
備考	・ 各イベントに参加することが，レポート作成・提出の条件となる。 ・ 提出されなかったレポートについては 0 点として成績を算出する。